

# モニタリング結果報告書 (令和2年度)

## 1. 施設概要

施設名	三崎漁港本港特別泊地及び本港環境整備施設		
所在地	三浦市三崎5丁目167番2号、4号、11号の一部		
サイトURL	http://misaki-marinecenter.com/		
根拠条例	神奈川県漁港管理条例		
設置目的(設置時期)	三崎漁港を一時的に利用するプレジャーボートの本港特別泊地に集約することによって、プレジャーボートと漁船を分離し、円滑な漁業活動を確保するとともに秩序ある漁港利用を推進するための特別泊地及び、地域振興を図るための駐車場、交流広場、特定目的岸壁を設置する。(平成13年4月共用開始)		
指定管理者名	スバル興業株式会社・株式会社三浦海業公社		
指定期間	H28.4.1 ~ R3.3.31 (2016年) (2021年)	施設所管課 (事務所)	水産課 (東部漁港事務所)

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>※新型コロナウイルス感染症が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p>
<p>利用状況はC評価、利用者の満足度はS評価、収支状況はB評価であり、3項目評価はB評価とした。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1回目の緊急事態宣言時にゲストバース及び駐車場を閉鎖した。そのため、およそ1か月半の間、ゲストバース及び駐車場の利用がなく、上半期のゲストバース及び駐車場の利用は前年を大きく下回った。ただ、下半期は、大きな台風もなく、秋の行楽シーズン時の天候に恵まれたこともあり、ゲストバース及び駐車場ともに前年度を超える利用があった。</p> <p>利用者からは、設備に対する不満がある一方で、職員の対応については、高い評価が得られ、日頃の指定管理者の努力が感じられた。収支状況については、前年度から利用収入は減少したものの、経費節減等により支出も減少したことから収支差額のマイナス幅は改善が図られている。</p>
<p>&lt;各項目の詳細説明&gt;</p> <p>◆管理運営等の状況 事業計画に基づいた施設運営を適切に実施した。特に、泊地内における案内・誘導業務では、これまでのノウハウを活かしたサービスを継続して提供した。係留ロープやフェンダーの無料貸出しも行い、通常利用者をはじめ荒天避難で入港する利用者から高い評価を得ている。また、施設の利用にあたっては、利用規則や利用料金を分かりやすく提示し、利用者が平等に利用できるよう努めた。</p> <p>◆利用状況 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1回目の緊急事態宣言時にゲストバース及び駐車場を閉鎖したため、およそ1か月半の間、ゲストバース及び駐車場の利用はなく、上半期の利用者数はゲストバースが前年度比マイナス26.8%、駐車場は前年度比マイナス23.4%であった。一方で、秋の行楽シーズン時には大きな台風もなく、天候に恵まれたことから、下半期のゲストバース利用者数が前年度を上回り、ゲストバースは22.7%増、駐車場は1.4%増であった。年間で見ると、ゲストバース及び駐車場を閉鎖した影響が大きく、ゲストバース及び駐車場ともに前年度比で利用者数マイナス11.5%であった。その結果、目標達成率は77.4%となり、C評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 10月にアンケートを実施し、上位2段階の回答割合が95.2%でありS評価となった。利用者の不満は、設備に対するものが多いが、職員の対応については、高い評価が得られ、指定管理者の努力が感じられた。</p> <p>◆収支状況 収支比率が92.30%となり、B評価となった。ゲストバース及び駐車場を閉鎖していた期間の利用料金収入が減少したため、令和2年9月補正予算を計上し、県との協議を通じて指定管理料を増額した。また、令和元年度まで「その他収入」として計上していた駐車場利用券は、指定管理者が自ら地域振興目的で実施しているため、令和2年度から自主事業の会計に移行した。そのため、その分の収入が減ったが、経費節減等により収支差額のマイナス幅は改善した。今後も収支の改善に向け、経費節減やサービスの向上、自主事業の工夫により利用者数の増加に努め、引き続き収支状況の改善に努めるよう指導した。</p> <p>◆苦情・要望等 指定管理者に起因する苦情・要望はないが、施設に対する要望については県に適切に情報を提供しており、評価できる。</p>

<p>◆事故・不祥事等 令和2年度は事故・不祥事はなかった。引き続き、安全管理を含め適切な施設運営に努めることが望まれる。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 指摘・指導事項はなかった。</p> <p>◆その他 令和2年度の3項目評価については、B評価とした。今後も適切な管理運営を行うとともに、利用者が満足しリピーターが増えるようなサービス向上に努めることが望まれる。</p>	
3項目評価	<p>S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要</p> <p>※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
B	

### 3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	なし
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	月1回20分程度	なし
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	指導・改善勧告等の内容
		なし

### 4. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
年度協定書の事業計画書において、施設の維持管理に関する業務、施設の運営に関する業務等についてそれぞれ具体的な業務内容及び作業頻度が提案されている。	各業務とも提案のあった作業内容及び作業頻度は満たされており、指定管理業務は適切に実施されていた。	今後も適切な運営が望まれる。
秩序ある安全な漁港とするための管理運営を行う。	知識や経験が豊富な職員による係留サポートを行っている。また、防舷材や係留ロープの無料貸出しを行い、利用者から高い評価を受けている。	ゲストバースの利用者から高い評価を得ている。今後も利用者満足度の高いサービス提供が望まれる。
魅力ある観光の核づくりのための管理運営を行う。	例年、地域振興を目的とした「三崎・城ヶ島花火大会」の実行委員会事務局補佐を務めるなどしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により各種イベント等は中止となった。また、HP及びSNSを活用し、イベントやお知らせの最新情報を発信している。	地域振興に積極的に携わることで、施設利用者数を増やす努力をしており、今後も、地域振興につながる事業展開が望まれる。
公共施設としての管理運営を行う。	利用者の安全確保を図るため、台風等の荒天時には艇の係留状況を確認している。また、防舷材や係留ロープの無料貸出しを継続している（随時）。	今後も適切な運営が望まれる。

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の主な内容	実施状況等
バーベキューグリル・テーブルの貸出、食材等の販売	1年を通してバーベキュー会場を提供している。年間853件の利用があった。ただし、1回目の緊急事態宣言時には、バーベキューの利用を停止した。
クルージング（城ヶ島周遊観光船等）の運行	クルージング事業は、9回運航され、約60名の利用があり、利用者からの評価は高かった。ただし、1回目の緊急事態宣言時には、クルージング事業は運休した。
海上生簀を利用した体験釣り施設への通船の乗下船のための岸壁利用サービス	体験釣り施設への通船発着場の運行日数は平均月25日程度あり、地域振興に協力した。
ゲストバース利用者への給水サービス	1年を通して提供し、利用者から高い評価を得た。
駐車場利用券の販売	年間1万3600枚を販売し、地域振興に協力した。

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

## 5. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
C	

	前々年度	前年度	令和2年度
利用者数※	33,218	35,603	31,495
対前年度比		107.2%	88.5%
目標値	39,087	39,869	40,666
目標達成率	84.9%	89.3%	77.4%

目標値の設定根拠： 泊地：提案時の事業計画書の年度目標  
 駐車場： ”

利用者数の算出方法（対象）： 泊地：利用届出書の集計  
 駐車場：自動精算機による集計

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

駐車場利用台数  
 泊地利用隻数

### 【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】

（※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）

#### ①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、第1回目の緊急事態宣言時には、ゲストバース及び駐車場を閉鎖した。下半期は天候に恵まれたこともあり、ゲストバース及び駐車場ともに例年よりも多くの利用があった。ただ、約1か月半の間、施設を閉鎖した影響は大きく、目標値を達成することができなかった。

（閉鎖期間）

ゲストバース 令和2年4月25日から令和2年5月31日まで  
 駐車場 令和2年4月15日から令和2年5月31日まで

（前年度比）

ゲストバース	4月	-78.5%	5月	-100.0%		
	上半期	-26.8%	下半期	+22.7%	年間	-11.5%
駐車場	4月	-77.0%	5月	-100.0%		
	上半期	-23.4%	下半期	+1.4%	年間	-11.5%

#### ②令和2年度の対応状況

コロナ禍において、咳エチケット、手洗い・うがい、アルコール消毒を徹底し、予防・検温管理に努めたほか、5月には、「感染防止対策取組書」の掲示や「LINEコロナお知らせシステム」の運用を開始した。

また、常に、身体的距離の確保、マスク着用、手洗いの徹底しているほか、アクリル板等で遮蔽、換気するなど感染対策に努めた。

## 6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	実施時期：令和2年10月1日～10月31日 実施方法：声かけによる協力依頼	回収数は42件であった。施設に対する不満がある一方で、スタッフの対応について高い評価を得ている。

[ サービス内容の総合的評価 ]

質問内容 総合（とても良い・良い・あまりよくない・悪い）

実施した調査の配布方法 利用者に直接配付 回収数／配布数 42 / 42 = 100.0%

配布(サンプル)対象 特別泊地利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	16	24	2	0	42	ゲストバースに夜間停泊したい。スタッフによる離着岸補助は助かる。
回答率	38.1%	57.1%	4.8%	0.0%		
前年度の回答数	19	33	2	1	55	
前年度回答率	34.5%	60.0%	3.6%	1.8%		
回答率の対前年度比	110.3%	95.2%	131.0%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<p><b>【新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響と対応状況】</b>                  (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)</p>
<p>①新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響                  一部の利用者がマスクをしていなかった。</p>
<p>②令和2年度の対応状況                  マスクの未着用や身体的距離の確保については、その都度声掛けをし、改善を図っている。</p>

## 7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[ 指定管理業務 ]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	3,848	16,979	1,985	駐車場1時間利用券の販売収入	22,812	22,812	0	
	決算	3,848	15,036	1,490	駐車場1時間利用券の販売収入	20,374	23,274	-2,900	87.54%
前年度	当初予算	3,884	17,353	2,025	駐車場1時間利用券の販売収入	23,262	23,262	0	
	決算	3,884	15,473	1,564	駐車場1時間利用券の販売収入	20,921	23,869	-2,948	87.65%
令和2年度	当初予算	3,919	17,665	0	-	21,584	21,584	0	
	決算	6,249	13,690	0	-	19,939	21,603	-1,664	92.30%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和2年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

・「その他収入」に計上されている駐車場利用券については、指定管理者が自ら地域振興の目的で実施しているため、令和2年度から自主事業の会計に移行した。

### 【新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響と対応状況】

(※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

#### ①新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響

緊急事態宣言時におけるゲストバース及び駐車場の利用料金は、前年同月から大きく減少した。

(前年度比)

ゲストバース	4月	-78.2%	5月	-100.0%		
	上半期	-23.1%	下半期	+16.6%	年間	-10.1%
駐車場	4月	-78.9%	5月	-100.0%		
	上半期	-23.4%	下半期	+0.2%	年間	-12.1%

#### ②令和2年度の対応状況

ゲストバース及び駐車場の閉鎖により利用料金収入が減少したが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応として、県との協議により指定管理料を増額した。

8. 苦情・要望等  該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等  該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。